



## スイッチポート ブロッキングの設定

この章では、Cisco NX-OS デバイス上でスイッチポートブロッキングを設定する方法について説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- [スイッチポートブロッキングについて \(1 ページ\)](#)
- [スイッチポートブロッキングの注意事項および制約事項 \(1 ページ\)](#)
- [スイッチポートブロッキングのデフォルト設定 \(2 ページ\)](#)
- [スイッチポートブロッキングの設定 \(2 ページ\)](#)
- [スイッチポートブロッキング設定の確認 \(3 ページ\)](#)
- [スイッチポートブロッキングの設定例 \(3 ページ\)](#)

### スイッチポート ブロッキングについて

MAC アドレスが期限切れになるか、スイッチによって学習されなかったために、不明のマルチキャストまたはユニキャストトラフィックがスイッチポートにフラッドिंगすることがあります。不明なマルチキャストおよびユニキャストトラフィックがスイッチポートに転送されると、セキュリティ問題が発生する可能性があります。スイッチポートブロッキングをイネーブルにすると、マルチキャストまたはユニキャストトラフィックのポートへのフラッドिंगを防止できます。

### スイッチポートブロッキングの注意事項および制約事項

スイッチポートブロッキング設定時の注意事項および制約事項は次のとおりです。

- トラフィックストーム制御が適用されるのは入力ポートだけであるのに対して、スイッチポートブロッキングが適用されるのは出力ポートだけです。
- スwitchポートブロッキングは、すべてのスイッチドポート（PVLANポートを含む）でサポートされ、ポートが転送するすべての VLAN に適用されます。
- スwitchポートブロッキングは FEX ポートではサポートされません。

- ポート チャネルの不明のマルチキャストまたはユニキャストトラフィックをブロックすると、ポート チャネル グループのすべてのポートでブロックされます。
- スイッチポートブロッキングには制御のレベルは用意されていません。指定されたポートにおける未知の出力マルチキャストまたはユニキャストパケットのフラッディングをすべて防止します。
- スイッチポートブロッキングは、Cisco Nexus 9500 シリーズ スイッチの CPU を発信元とする制御パケットをドロップします。Cisco Nexus 9300 シリーズ スイッチのパケットはドロップしません。

## スイッチポート ブロッキングのデフォルト設定

次の表に、スイッチポートブロッキングパラメータのデフォルト設定を示します。

表 1: スイッチポート ブロッキングパラメータのデフォルト値

| パラメータ         | デフォルト  |
|---------------|--------|
| スイッチポートブロッキング | ディセーブル |

## スイッチポート ブロッキングの設定

デフォルトでは、スイッチは不明の宛先 MAC アドレスを持つパケットをすべてのポートにフラッディングします。このようなトラフィックの転送を防ぐために、不明のマルチキャストまたはユニキャストパケットをブロックするようにポートを設定できます。

### 手順

|        | コマンドまたはアクション  | 目的                                   |
|--------|---|--------------------------------------|
| ステップ 1 | <b>configure terminal</b><br>例：<br><pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>  | グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。         |
| ステップ 2 | <b>interface {ethernet slot/port   port-channel number}</b><br>例：<br><pre>switch# interface ethernet 1/1 switch(config-if)#</pre> | インターフェイスコンフィギュレーション モードを開始します。       |
| ステップ 3 | <b>[no] switchport block {multicast   unicast}</b><br>例：  | 指定されたインターフェイスにおける未知のマルチキャストまたはユニキャスト |

|        | コマンドまたはアクション   | 目的   |
|--------|--|--|
|        | <code>switch(config-if)# switchport block unicast</code>   | パケットのフラッドイングを防止します。<br>このコマンドの <b>no</b> 形式を使用すると、ポートでの通常の転送が再開されます。 |
| ステップ 4 | (任意) <b>show interface [ethernet slot/port   port-channel number] switchport</b><br>例：<br><code>switch(config-if)# show interface ethernet 1/1 switchport</code> | スイッチポートブロッキング コンフィギュレーションを表示します。                                     |
| ステップ 5 | (任意) <b>copy running-config startup-config</b><br>例：<br><code>switch(config-if)# copy running-config startup-config</code>                                       | 実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。                           |

## スイッチポート ブロッキング設定の確認

スイッチポートブロッキングの設定情報を表示するには、次の作業のいずれかを行います。

| コマンド  | 目的                                    |
|---|---------------------------------------|
| <b>show interface switchport</b>  | すべてのインターフェイスのスイッチポートブロッキングの設定を表示します。  |
| <b>show interface {ethernet slot/port   port-channel number} switchport</b>     | 指定されたインターフェイスのスイッチポートブロッキングの設定を表示します。 |
| <b>show running-config interface [ethernet slot/port   port-channel number]</b> | 実行コンフィギュレーションのスイッチポートブロッキング設定を表示します。  |

## スイッチポート ブロッキングの設定例

次に、イーサネットインターフェイス 1/2 上でマルチキャストおよびユニキャストフラッドイングをブロックし、設定を確認する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 1/2
switch(config-if)# switchport block multicast
```

```
switch(config-if)# switchport block unicast
switch(config-if)# show running-config interface ethernet 1/2
!Command: show running-config interface Ethernet1/2
!Time: Wed Apr 15 16:25:48 2015

version 79.2(1)

interface Ethernet1/2
switchport
switchport block multicast
switchport block unicast
```